

アスパラガスの改植に!

「コフナ・ソーラー法」で実施中!

アスパラガスの栽培のポイントとして役割を終えた古い根(脱落根)を分解して、新たな根を出すスペースを確保する必要があります。下の写真の様に、高密度に生えて役割を終えた根を微生物によって分解・腐植化することで、土中にスペースを作り、腐植増加により団粒構造が作られ、肥料持ち・水分保持がスムーズにできるなど栽培しやすい土壌ができます。

「コフナ」は季節・深さを問わず根を分解腐植化し微生物相を豊かにするので、アスパラガス圃場(ほじょう)での使用をお勧めします。主な「コフナ」を投入するパターンとして、冬の全刈り終了後に堆肥とともに、または春前に元肥とともに「コフナ」を投入することをお勧めしております。

アスパラガスの貯蔵根アップに

フランス生まれの微生物資材

COFUNA®



2017年5月静岡県富士市



断面

<http://www.cofuna.jp>

コフナ農法普及協議会

事務局/ニチモウ株式会社内

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20-2 (天王洲オアシンスクエア) E-mail info@cofuna.jp

電話 03-3458-4369 ファックス 03-3458-4329